



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER.2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 “On the Move!!” 「さあ 動こう!!」
- アジア会長主題 “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
- 東日本区理事主題 「みんなで力を合わせて、1・2・3」
- あずさ部部長主題 「入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために！」
- 東京西クラブ会長主題 「いつも自然体で！ 楽しい例会参加を」

### 2019年9月号

NO 516

天の国は次のようにたとえられる。畑に宝が隠されている。見つけた人は、そのまま隠しておき、喜びながら帰り、持ち物をすっかり売り払って、その畑を買う。

マタイによる福音書13章44節

### ユース育成事業支援

神谷 幸男

今月のテーマはユース。ユースの活動、ユース育成事業支援に協力しましょう。

われわれ高齢者の多いクラブは活力低下に悩みますが、存在価値は在ります。ユースと共に活動することはなかなか困難なところがありますが、ユース育成事業を支援することは、さほど困難なことではないでしょう。具体的にはワイズメンズクラブや YMCA が行うユース事業に関心を持ち、これらの集会や行事に参加することでもあり、資金的支援を行うことです。これならば実行可能でしょう。最近の国の内外の世情は少しおかしくなってしまったと、誰もが感じているのではないのでしょうか。

世界は今、他者を思いやる心の貧困、不寛容が先に立ち、異文化摩擦や大国の自国第一主義など、人心が分断や対立の様相を見せているからでしょう。この世情を嘆いてばかりいても、どうにもな

らないでしょう。この世情からの脱出は次世代の人たちユースに期待せざるを得ないでしょうから、われわれにもできることを実行するのみです。

YMCA の活動は、これら悲しむべき人を思いやる心の貧困から回復させる力を持っている、人心に寛容と他者理解が推し進められると理解していますので、たとえ小さなタラントンしか持ち合わせていなくてもそれなりの手の届くところにあるユースの活動、ユース育成事業支援に関わることがわれわれにもできることです。身近なところでは、9月6日から8日に行われるワイズメンズクラブが主催するユースボランティア・リーダーズ・フォーラムに一部でも参加し、その活動を見聞きすることがユース育成事業支援の真髄を理解するためのよい機会であると思います。来年の機会を生かしましょう。



江戸時代から続く水車経営農家

### 三鷹国立天文台・水車農家 WHO ウォーキングご案内

秋の気配を感じる三鷹の天文台と大沢の里を歩く。

期 日：2019年9月28日(土)

コース：JR 中央線武蔵境駅<バス>一天文台前-国立天文台(第一赤道室・天文台歴史記念館など)-野川-大沢の里(水車経営農家・田んぼ・古民家)-龍源寺バス停<バス>-中央線・三鷹駅

集 合：JR 中央線武蔵境駅

改札前 9:45

会 費：300円 弁当。飲料

### クラブ役員

- 会 長 篠原 文恵
- 副 会 長 大野 貞次
- 書 記 神谷 幸男
- 会 計 高嶋美知子
- 担当主事 木川 拓

8月の記録				ニコニコ	9,950円
在籍者数	15人	メネット	1人	クラブファンド	0円
(内功労会員)	2人				
出席者数	12人	コメント	0人	ファンド残高	158,447円
メーキャップ	0人	ビジター	5人	ホテ校ファンド	0円
出席率	92%	ゲスト	0人	奨学金残高	10,429円
前月修正	-	出席者合計	18人	WHO参加者	-

## 9月例会案内

## 今月の強調テーマ：ユース

酷暑の8月も終わり、ほっと一息ついて9月を迎えました。これからが、秋本番です。

東京五輪もいよいよ1年を切り、私たちも、身近に五輪を意識するようになりました。

今月は今一番旬な卓話です。不滅のランナー・人見絹枝さんについてのお話を伺います。皆様お誘い合わせの上、楽しみに御来場下さい。

日時：9月19日（木）18：45～21：00

会場：ウェルファーム杉並（4階集会室）

（杉並区天沼3-19-16 TEL03-5335-7330）

会費：1,500円（ゲスト、ビジター、メネット）

担当：C班（石井、神谷、河原崎、木川）

## HAPPY BIRTHDAY

15日 村野 繁 23日 本川 悦子

25日 高嶋 君弘

受付 石井 元子  
司会 河原崎和美

開会点鐘 篠原 会長  
ワイズソング（いざ立て） 一 同  
聖書朗読・感謝 神谷 幸男  
開会あいさつとゲスト紹介 篠原 会長  
会食

卓話 「人見絹枝と私－  
彼女が遺した課題を追って」

田中良子さん

元法政大学・法政女子高等学校教員

元日本学生陸上競技連合女子委員長

ハッピーバースデー

諸報告 会長 他  
YMCA 報告 担当主事・木川 拓  
ニコニコ 一 同  
閉会点鐘 篠原 会長

## － 8月第2例会(事務会) －

日時：8月22日（木）

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、神崎、木川、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田、神谷 M

<報告事項>

①8月の事務会は、例会1部（民音音楽博物館見学）と3部（食事会）の間の、16：00頃から16：40まで喫茶店「しなのCafe」にて行われた。

短時間のため実質審議は行われず、下記資料が配布され、次回9月事務会の備えとした。

●東京西クラブ8月事務会資料

●東京西クラブ2019・2020年会計予算（案）

②チャーターメンバーの庄野久男さんが、8月19日ご逝去された（享年100歳）。

前夜式は目黒・行人坂教会で23日に行われ、翌24日に同教会で葬儀・告別式が営まれた。

（書記・神谷幸男）

## 【今後の行事日程】

◇甲府21クラブぶどう棚納涼例会

日時：9月21日（土）11：30～

場所：甲州勝沼ぶどうの丘

参加費：男性4,000円

女性3,000円

◇第17回富士山例会

日時：9月28日（土）～29日（日）

場所：富士山五合目 佐藤小屋

集合：現地または13：00 河口湖

ショッピングセンター

BELL 駐車場

参加費：宿泊参加12,000円

日帰り参加6,000円

◇東京八王子クラブ25周年記念

例会

日時：10月12日（土）

13：30～17：00

場所：高尾の森わくわくビレッジ

研修室2

参加費：3,000円

◇あずさ部部会

日時：2019年10月19日（土）

13：00～17：00

場所：松本市・深志斎館

参加費：5,000円

## 卓話者紹介

田中 良子(たなか・よしこ)さん

大学時代は部員の中で紅一点、短距離とハードルで活躍。卒業後、教員生活の傍ら、1964年の東京オリンピック時から日本陸連、アジア陸連、国際陸連の女子委員として、それぞれの大会では、日本選手団のマネージャー、選手村の副村長として活躍され、第1回アジア女子陸上シンポジウム開催基調報告もなさいました。昨年「不滅のランナー 人見絹枝」を出版され、日本初のオリンピック女子メダリストの足跡をたどり、彼女も望んでいた女子陸上競技発展の課題とその探求のため、多方面でご活躍です。

東京YMCAのHP  
で、WHOの毎月の  
予告と報告を写真  
入りで見ることが出  
来ます。

[http://tokyo.ymca.or.jp/communty/suginami\\_news/](http://tokyo.ymca.or.jp/communty/suginami_news/)





## 赤羽あずさ部長公式訪問 — 8月納涼例会 —

8月22日(木)、3つのプログラムを3つの会場で行うという、例年とは、かなり趣の違った納涼例会が行われました。時間が15:00～19:00で長さに驚かれたと思いますが、すべてJR信濃町駅から近く、またどこからでもご参加いただけるという企画でした。

まず、民音音楽博物館に集合し、自動演奏楽器展示室に案内され、自動パイプオルガンや手回しオルガンの大きさに驚き、オルゴールから流れる音楽をしばし楽しみました。

2室目は劇場の様に観客席がありその周りに1580年～1899年に製作されたチェンバロと古典ピアノが8台並んでいます。それぞれの特徴について、野澤晃館長から説明があり、若い女性が弾いて音の違いなどを聞かせてくれました。

モーツァルトやベートーベンが、このようなピアノで作曲していたのかと感慨深かったです。最初のチェンバロは、日本にも運ばれていて、多分、秀吉も、鑑賞していたという話に驚きました。その時の秀吉の様子を想像してみたのですが、思い浮かびません。

その後、クラシカルな喫茶店を借り切って、公式訪問でお越しいただいた、赤羽美恵子あずさ部部長を囲んでゆっくりお茶を頂い

た後、神宮外苑の中のレストランを借り切って、例納涼例会を行いました。

最初に7月29日に100歳で逝去なされた庄野久雄さんを悼み、村野絢子さんの祈りに想いを合わせました。

赤羽あずさ部長にご挨拶頂き、松本クラブからの大和田浩二さんはじめ、ゲストの皆様のご協力で、楽しく有意義な例会になりました。有難うございました。

(鳥越成代)

出席者<メンバー>石井、大野、神谷、河原崎、神崎、木川、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田、<ビジター>赤羽あずさ部長・大和田部地域・Yサ事業主査(松本)、長谷川あや子部国際・交流事業主査(東京八王子)、田上正(熊本むさし)、藤井寛敏(東京江東)、<メネット>神谷

## 東京YMCA夏まつりで 半日遊ぶの記

「“東陽町の夏の風物詩”ともいわれる『東京YMCA夏まつり』。今年も会員による本格的な模擬店や、学生ボランティアによる子ども遊びコーナー、お楽しみ抽選会などを用意して、皆様のご来場をお待ちしています!」。これは東京YMCAメールマガジンのキャッチフレーズ。

8月24日(土)、この日も暑かった。熱中症に気を付けながら正



左は納涼例会第1部民音音楽博物館での集合写真。右は懇親会での赤羽あずさ部部長の挨拶

午ちょっと前に会場に到着。早速東京北クラブ店で生ビールと東京たんぼぼクラブ店で枝豆を求めて、両手に持って座る場所がないかなと見渡せば、吉田司さん夫妻と菰渕光彦さんが談笑している。テーブルに割込み、談笑の輪に入って飲み食い始めた。

そのうち入れ替わり立ち替わり人が替わりながらも、焼きとうもろこし(西東京センター店)、焼き鳥(東京ベイサイドクラブ店)、冷ややっこや洋菓子(東京世田谷クラブ店)、日本酒(被災地支援物品販売)、フランクフルト(東京グリーンクラブ店)、かき氷(東京むかでクラブ店)等々買い求めたものや差し入れものを口にしながら他愛もないおしゃべりを楽しんだ。

敗戦直後、娯楽の少なかった時代に何かを求めて神田YMCAに集まってきた、今は高齢者となった人たちが今でもお付き合いしている人がいないかなと探したが、今年は1人も見当たらなかったのは少々淋しかった。

玄関前の屋外の広場の子ども遊びコーナーでは子どもたちとその保護者たちで賑わっていた。

ジャズバンドの演奏が終わってお楽しみ抽選会が始まるところで、抽選券も忘れたことだし退散した(後片付けは若い人にお任せ)。

当クラブからの参加者は大野さん、篠原さん、神谷の3人。

(神谷幸男)

## 庄野久男さんを悼む

庄野久男さんは2019年8月19日、100歳11か月のご生涯を全うされ天国にお帰りになりました。

庄野さんは、東京西クラブ創立の際に、東京武蔵野クラブ（現・東京武蔵野多摩）から移籍され、チャーターメンバーであり、奈良 傳賞受賞者であり東京西クラブの重鎮でした。1970年代に東京YMCA杉並プランチが設立され、このYMCAを支援するワイズメンズクラブとして東京西クラブが設立され、庄野さんはその運営委員長として地域の青少年育成活動に活躍されました。

庄野さんは、現在の電気通信大学の前身である専門学校に学ばれ、電気通信分野の専門家として先の戦時中に在ってはレーダーその他軍事施設の開発に貢献されたと聞いております。同氏は更に向学心に燃え、原子力分野の専門家としても戦後の産業界において重要な産業分野で、しかも



庄野久男さん（2006年4月東京西クラブの例会で卓話をされた）

幅広い分野でもご活躍されました。

例えば聴覚障害者支援にも関わられ補聴器を開発される等、各分野においても高い地位に就かれ社会貢献されました。

若き日にキリスト教に触れ、一生をキリスト教信仰者として生きてこられました。科学者としての誇りを常に持っておられ、原子力開発は自分の生き方にそぐわないとお考えから社会的地位にこだわることなく研究一筋に勤しまれました。キリスト教信仰に立って専門知識を生かしつつYMCA会

員としてまたワイズメンとして、人の心に触れるお働きをされた生涯を送られました。

今は天国に在ってやすらかな眠りにつかれ、そしてわれわれの心的成長を祈っておられると信じます。

（神谷幸男）

### YMCA Today

■ホテル学校の1年生たちは9月1日～4日、4日～7日と2班に分かれて野尻湖キャンプに参加します。日中はカヌーやカヤック等、水上アクティビティを体験し、電気や携帯の繋がらないこの地で協力し合う大切さを学ぶのも、このキャンプの取組みの一つ。9月9日から新学期がスタートしたらすぐに6カ月間のホテル実習が開始。社会の厳しさを直に経験する時に大切なのも職場の方々や同級生との支え合い。社会に通用するヒトとしての成長に期待します

■足かけ2年の準備と多くの期待を受けて7月1日、世田谷区船橋に認可保育園「YMCA 保育園ねがい」が開園しました。開所式には、世田谷区長の保坂展人さん初め、近隣保育園の園長さんなどが訪れ、多くのメッセージをいただきました。定員79人のうち7月から計28人の園児を迎えて保育をスタート。8月には新たに10人の入園がきまり、さらに活気があふれています。

■昨今相次ぐ不審者による事件を受け、東陽町語学教育センターとウェルネス東陽町の職員など約30人が7月3日、深川警察署による安全訓練を受講。身近にある物を使い、どう不審者に対応するか、実際に身体を動かしながら学びました。子どもたちの安全を守る立場にある者として、実践的な動き方を学んだだけでなく、意識も高めることが出来た研修となりました。日頃の学びや訓練は今後も継続していきたいと思えます。（担当主事・木川 拓）

### 【YMCA・行事案内】

◇東京YMCAチャリティーラン  
日時：2019年9月23日（月・祝）  
10：30～14：30

場所：木場公園

◇チャリティーコンサート～libyと高等学院のために～不登校などの青少年の居場所「オープンスペース liby」と、通信制高校サポート校「東京YMCA高等学院」を支えるためのコンサートです。

日時：2019年10月4日（金）  
19：00～

会場：日本基督教団霊南坂教会  
出演：飯靖子（オルガン）、飯頭（ヴィオラ）、青山学院短期大学グローリアスクワイア  
曲目：アダージョとアレグロ／シューマン Let's Dance  
Amazing Grace ほか  
入場料：2,000円

（高校生以下無料）

◇冬休みのスキーキャンプ

東京YMCAの冬休みのスキーキャンプの受付が、10月11日から始まります。YMCAは、90年ものスキーキャンプの経験を持ち、楽しく安全に、一人ひとりの子どもの成長を目指しています。詳細は、

<http://tokyo.ymca.or.jp/camp>

### 意見交換

毎月15日に発信

**Change! 2022**

EMCニュース

ワイズドットコムで配信されます

☆☆ インタビュー ☆72☆  
 片山 啓さんに聴く  
 茨城クラブ



—片山啓さんと初めて会ったのは、2017年の東西日本区交流会の分科会でした。その場で、例会の卓話をお願いしました。

「そうでしたね」

—例会で、橋梁についての卓話が終わった後、出席者全員が、橋にまつわる思い出を話しました。橋って、文学でも映画でもロマンがありますね。片山さんは、どんな橋梁を設計されているのですか。

「橋梁の特に、長大橋梁の基礎を専門に担当をさせて頂いています。監督官として、何度か基礎工の施工管理をさせて頂いた経験もあります」

—海外でも仕事をされていますね。最近造られた大きなものは。

「設計では、昨年のバングラデシュの鉄道橋は全長約5kmのプロジェクトで、まだ施工前の段階です。施工管理では約5年前にベトナムのハノイの街中のニャットン橋で、6径間連続斜張橋（横浜ベイブリッジが2橋以上連続しているイメージで主塔が5本）の基礎工を担当させて頂きました。最近では、神戸で大規模橋梁プロジェクトがあり、この設計業務を中心に従事しています」

—これまでに手掛けられて、特に印象に残る橋は。

「ベトナムのカントー橋と韓国の仁川大橋です。仁川大橋は、インチョン空港からも見える大きな斜張橋で、韓国の大資本の建設会社と設計を行いました」

—現在の東京の日本橋には、橋梁の設計者とは別に装飾の設計者

の名が知られていますが。

「日本では、橋梁の景観や装飾を専門にされている方もおられますが、残念ながら欧米ほどの自由度はないように感じています」  
 —橋は機能だけでなく、その土地柄、地形を考慮してデザインをするのでしょうか。

「現在の神戸の案件でもそうですが、大きなものや、地域を代表するような橋梁の場合には、初めに橋梁のコンセプトを作り、そこに地域の歴史や文化などの特性、そして計画地域の特性や自然条件等を組み込みます。そして、そのコンセプトに準じて景観委員会や構造小委員会等が行われて、先生や地域の代表を含めながら検討を進めていきます」

—海外では、その国の技能者を指導されることもあるのですか。

「基本的に私たちは、施工者ではなく設計者なので、相手国の管理の代行をする立場として、施工者に対する指導や協議が中心となります。ただ、現場に行く際には、直接ローカルに指導をすることもあります。近年感じるのは、日本の技術者（設計・施工者）の技術力の低下です。理由は、日本国内での大きなプロジェクトが減る一方で、担い手不足などによる労働条件の悪化等から、若い技術者が育ちにくい環境になっているためかと感じています」

—日本では橋梁の老朽化が問題になっていますね。

「日本の社会資本は、戦後、集中的に整備をしてきましたので、老朽化対策のタイミングが重なってしまい、維持管理コストと先程の担い手不足が課題となっています。このため、建設業界でもICTの有効活用がテーマとなっています」

—話は変わりますが、子どもの頃は、どんな子どもでした。

「授業中にうるさくて、よく先生に怒られていました。多分、今の私の印象と違うと思いますが」

—そうですね。勉強の方は。

「図工の時間が一番好きでした」  
 —大学での専攻は。

「私は、海洋構造物に興味があり、土木ではなく船舶工学科に属しながら、土木の授業も聴講させて頂いていました」

—片山さんは、鎌倉 YMCA のリーダーOBですね。

「当時鎌倉 YMCA のディレクターは田口務さん（現横浜 YMCA 総主事）で、約2年間だけでしたが、藤沢 YMCA と合同でキャンプ等の活動を行っていました。当時のリーダーとは、今でも連絡を取りあっています」

—ワイズにはどういう縁ですか。

「当時は、鎌倉 YMCA には、ワイズがなく、ワイズを知りませんでした。約15年前に、同じ筑波の教会の会員で YMCA のキャンプメンバー出身の故武林敬ひとしさんが、茨城 YMCA の理事をされていて、『新たに茨城でワイズを立ち上げるので、チャーターメンバーに入らないか』と無理やり誘われたことが、きっかけでした」

—関東東部部長をされ、仙台のアジア太平洋地域大会のホスト委員会でも活躍されましたね。今、ワイズにはどんな夢を。

「今年度は区地域奉仕・YMCA サービス主任を受けていますので、特に17年から活動を開始しているワイズと YMCA のパートナーシップ検討委員会の活動と連携させ、YMCA との協働に意識をした活動を推進できればと願っています。そして、2022年のワイズ100周年までに、多くの部やクラブにおいて、ワイズと YMCA 間で強い協力関係が築かれ、良い協働プログラムが進む、もしくは検討が始まることを夢見しています」

—何かの時に思い浮かぶ言葉は。

「『わたしは必ずあなたと共にいる。』（旧約聖書・出エジプト記3章12節a.）です」

—有難うございました。(吉田明弘)

## 旅で出会った人 ⑫

村野絢子

## モーリシャス

モーリシャスはインド洋の南マダガスカルから1,000 キロのところにあるインド洋の宝石と呼ばれる島で、火山によってできた山手線の内側ほどの広さがある。島の海沿いには英国皇太子が新婚旅行でこられた5つ星の高級ホテル他、多くのホテルが並ぶ。

オランダ・フランス・イギリスの植民地であった名残りでフランス語と英語が公用語、フランス語の変化を無くしたクレオール語が現地語として使われている。インド系・アフリカ系・ヨーロッパ系・中国系の人々が仲良く暮らしている。

今は、スーパーマーケットもケンタッキー、マクドナルドもあるが、いちばん賑わっているのは衣・食・住の全ての必需品が揃う市場である。15年前は、生魚も肉類も板の上に並べられていてビックリした。首都のポートルイスには、高級なブティックがずらり、それもそのはずフランス、イタリアのブランドの縫製工場も多いと聞く。

ここにはインド系のモーリシャス人と結婚した

4女の百合の家族が住む。2002年和泉教会で結婚式を挙げたのちモーリシャスで3日がかりの現地式結婚式をあげた。そのときは私どもと長女が参加した。

その後2009年、当時91才の伯母・妹夫婦・長男家族と私たち家族計10人で出かけた。皆が観光している間、プールサイドで読書とバザー用の手芸をしてヨーロッパ式リゾートライフを楽しんだ。

2012年4人目の出産を初めて現地でするので、出産前後2カ月は長女、続いて私が1か月手伝いに行った。3カ月間日本語を話せて嬉しかったという。

2016年スウェーデンと日本の友人夫妻を案内し、ドバイ経由で7人の旅をした。孫たちの通う学校（長女は英国系、2女と3女は米国系のインターナショナルスクール）を見学し、娘家族の行く教会も訪問し、他民族が暮らす島を楽しんだ。

昔から大型漁船の係留地として、南極の帰りに寄る場所としても知られていたようだ。日本から飛行機で正味14~15時間で行けますよ。



## 若き日の思い出

大野貞次

2020年にはオリンピックがありますね。その種目の中で新しくローラースケートボードなる種目が行われます。テレビでその内容が映し出されるにつれ、今の若い選手の技がうらやましく、またすごいと思います。

自分は10代の後半から20代の後半まで種目は違いますがローラースケートのスピード競技をしていましたが、オリンピック種目にはなかったのうらやましく思います。ローラースケートはアイススケート競技と同じくフィギュア・ホッケー・スピードの3種目があり、それぞれ世界選手権・アジア選手権等が行われています。現在は日本からは、アジア選手権に選手を送りだしているようです。

私はスピード競技で国内ではそこそこの成績を出してしまし

たが、なかなか世界選手権には出られませんでした。28歳の時世界選手権派遣選考会で良い成績を収めることができ、お情けでアルゼンチンで行われる世界選手権に出場することが出来ました。なんと幸運なことかその時は選手権指導者として選手育成にも携わっていたので教え子や家族もびっくりでした。

出場種目は、500・1,000・5,000・20,000mの4種目とロードレースの50キロレースに出場しましたが、成績は惨敗、体力も落ち世界との力の差を痛感させられました。

帰国後は指導者として選手育成に励み33歳の時までスケート関係にかかわりました。その後は仕事の関係でできなくなりスケートから離れました。

選手生活を思い出すと、よくあんな体力と気力があつたものだと自分でも感心しています。例を挙げると、室内リンクだと1周が

100mですから2万mを走るには200回そのリンクを回るわけですから、今考えると…ですね。

そんなことをしながら青春を謳歌していたことを思い出す現在は、病と闘う日々を過ごすこの頃です。情けない。

## 編集後記

庄野久雄さんのご逝去に、心より哀悼の意を表します。追悼文を最適任者、山田利三郎さんに書いていただこうとお願いしましたが、紀子夫人から、山田利三郎さんは術後のため執筆出来ないと辞退されました。

9月になっても暑さは続きましたが、秋風を感じる昨今です。原稿を寄せていただき有難うございました。今月も沢山の原稿が集まりましたので、枠内に収めるのに少々苦労しましたが何とかまとめました。(S.K)